



Microsoft Office 2010 ボリューム ライセンス ガイド

2010 年 4 月



Microsoft | Volume Licensing



適切な使用方法について

このガイドでは、マイクロソフト ボリューム ライセンスのお客様を対象に、マイクロソフト ボリューム ライセンス プログラムを通じた Microsoft Office 2010 スイートのライセンス取得方法について説明します。

このガイドは情報提供を目的としており、Microsoft Office ライセンス関連のあらゆるドキュメントに優先してまたは置き換えて使用するものではありません。各製品ライセンスの条件は、その製品の市販ソフトウェア ライセンスの条件、その製品のマイクロソフト ボリューム ライセンス契約、および/またはマイクロソフト ボリューム ライセンス製品表、マイクロソフト ボリューム ライセンス製品使用権説明書 (PUR) によって定義されます。

このガイドの内容は日本国内で提供されている製品体系に基づいて書かれています。日本以外の市場では提供されている製品は異なります。

詳細情報については、Web サイト (www.microsoft.com/japan/licensing/about-licensing/office2010.aspx)、およびこのガイドの最新バージョンを参照してください。

目次

概要	4
Microsoft Office 2010 の製品概要	4
マイクロソフト ボリューム ライセンスが提供する Office 2010	4
Microsoft Office 2010 ボリューム ライセンス製品	5
ソフトウェア アシユアランスの移行	7
Office 2010 と Office Web Apps	7
Office Web Apps のライセンス	7
主な依存関係	7
Office 2010: サーバー統合によるビジネス生産性の向上	8
エンタープライズ検索	10
ボリューム ライセンス プログラムとライセンス認証	11
Microsoft Office 向けのソフトウェア アシユアランス特典	12
ボリューム アクティベーションのメリット	13
Office 2010: 重要ポイント	14
よく寄せられる質問 (FAQ)	15
付録	17
Microsoft Office ライセンス用語集	17
関連情報	18

概要

この Microsoft Office 2010 ライセンス ガイドでは、有効なソフトウェア アシユアランス (SA) を保有するお客様を対象に、主要な製品、ライセンス モデル、ソフトウェア アシユアランスの移行に関する概要を説明します。

Microsoft Office 2010 の製品概要

Microsoft Office 2010 では、新たに搭載された強力な機能によって、PC、スマートフォン、Web ブラウザーを通じて、どこにいてもスムーズに作業を進めることができます*。マイクロソフトは、お客様の固有のニーズに柔軟に対応する機能を豊富に備えた Microsoft Office 2010 スイートを提供します。

ボリューム ライセンスを通じて入手可能な Microsoft Office 2010 スイートは、以下のとおりです：

- Microsoft® Office Standard 2010
- Microsoft® Office Professional Plus 2010

小売店を通じて入手可能な Microsoft Office 2010 スイートは、以下のとおりです：

- Microsoft® Office Personal 2010
- Microsoft® Office Home and Business 2010
- Microsoft® Office Professional 2010
- Microsoft® Office Professional Academic 2010

マイクロソフト ボリューム ライセンスが提供する Office 2010

マイクロソフト ボリューム ライセンスのお客様は、Office 2010 の各製品に加え、革新的な新しい統合機能である Microsoft Office Web Apps によって、さらなるビジネス価値を実現できます。*またソフトウェア アシユアランスのお客様は、Office 2010 へのスムーズな移行パスが提供されるほか、トレーニング、展開計画、技術サポートなどのさまざまなメリットを利用して、Office 2010 を最大限に活用することが可能です。

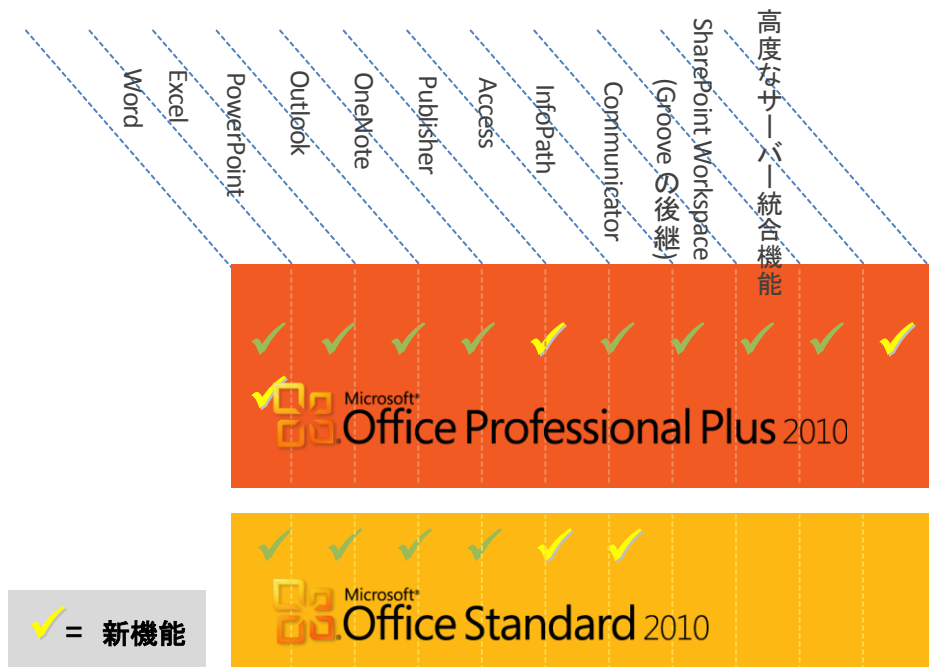
* 適切なデバイス、インターネット接続、およびブラウザー (Internet Explorer®、Firefox、Safari のいずれか) が必要です。一部のモバイル機能では、Office 2010 アプリケーション、Office 2010 スイート、Office 2010 Web Apps には含まれない Office Mobile 2010 が別途必要になる場合があります。Office Web Apps、Office Mobile 2010、および Office 2010 アプリケーションの機能は一部異なります。

Microsoft Office 2010 ボリューム ライセンス製品

Microsoft Office 2007 では 3 つのスイートが展開されていましたが、Microsoft Office 2010 リリースでは、Microsoft Office Professional Plus 2010 と Microsoft Office Standard 2010 の 2 つのスイートに合理化されます。このため、Office Enterprise Edition は廃止となります。この製品の合理化により、ボリューム ライセンスのお客様には、各製品の特長およびライセンス取得プロセスについて、より容易に理解していただくことが可能になっています。

次の表は、各 Office 2010 スイートに含まれるアプリケーションを示しています。

ボリューム ライセンスが提供する Office 2010 スイート



Microsoft Office Professional Plus 2010 では、個人作業およびチーム作業の両方に必要な完全なツールセットと、ユーザーと重要なビジネス プロセスとを接続するための環境が提供されます。Office Professional Plus 2010 スイートには、Microsoft® OneNote® および Microsoft® SharePoint® Workspace といった新機能が含まれます。また、Office Professional Plus スイートのボリューム ライセンスのお客様には、オンライン版アプリケーションである Office Web Apps のライセンスが提供されます。ボリューム ライセンス プログラムおよびオンライン版アプリケーションを活用することによって、Office Professional Plus 2010 の価値をさらに引き出すことができます。お客様は、個人情報の適切な管理や作業中のドキュメントや進行中のプロジェクトでの共同作業をより簡単に遂行できるようになります。

高度なサーバー統合機能が追加されたことにより、マイクロソフトのビジネス生産性ソリューション (Microsoft® SharePoint® Server 2010、Microsoft® Exchange Server 2010、および Microsoft® Communication Server) と容易に統合できます。これにより、組織内および組織の枠を超えて共同で作業を行ったり、コンテンツをより効率的に管理したり、日常のビジネス プロセスを合理化するための新たな機会を創出することが可能になっています。

Microsoft Office Standard 2010 では、個人で作業を行うために必要な包括的なツールセットが提供されます。このツールセットには、迅速かつ簡単に洗練されたドキュメント、スプレッドシート、プレゼンテーションの作成、および電子メール管理のためのツールが備わっています。Office Standard 2010 スイートの新機能には、Microsoft OneNote および Microsoft Publisher が含まれます。Office Standard 2010 スイートのボリューム ライセンスのお客様には、オンライン版アプリケーションである Office Web Apps のライセンスが提供されます。

Office Professional Plus 2010

含まれる製品: Word 2010、Excel 2010、PowerPoint 2010、Outlook 2010、OneNote 2010、Publisher 2010、Access 2010、InfoPath 2010、Communicator、SharePoint Workspace 2010

適性についての質問:

- 知的財産権の保護を必要とされていますか。
- フォームを作成できることは、お客様のビジネス成功にとって重要ですか。
- コンテンツフロー管理および組織へのアクセス管理は必要ですか。
- 異なる場所にいる複数のチームの共同作業によるプロジェクトの遂行が必要な場合がありますか。
- 従業員が情報を 1 か所に集約する (メモする) ために使用できる機能は必要ですか。



Office Standard 2010

含まれる製品: Word 2010、Excel 2010、PowerPoint 2010、Outlook 2010、OneNote 2010、Publisher 2010

適性についての質問:

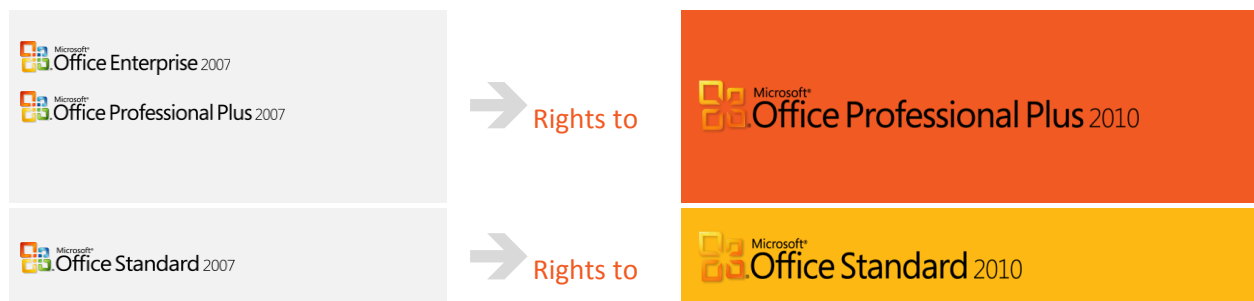
- ドキュメントの作成、財務/在庫の管理、ビジネスの詳細データの分析、およびプレゼンテーションやマーケティング/営業関連資料の作成ができる、基本的なデスクトップ スイートを必要としていますか。
- 社内/社外の人物と連携したり、取引先担当者を管理する必要がありますか。
- 手頃な価格の作業用デスクトップ スイートをお探しですか。

ステップアップライセンス: 有効なソフトウェア アシユアランスをお持ちのボリューム ライセンスのお客様は、ステップアップライセンスの取得により、Office Standard 2010 から Office Professional Plus 2010 にアップグレードすることが可能になります。

ソフトウェア アシユアランスの移行

Office 2010 の入手が可能になった時点で、Office Enterprise 2007、Office Professional Plus 2007 のボリューム ライセンスおよび有効なソフトウェア アシユアランスをお持ちのお客様には、Office Professional Plus 2010 に移行する権利が提供されます。一方、Office 2010 の入手が可能になった時点で、Office Standard 2007 のライセンスおよび有効なソフトウェア アシユアランスをお持ちのお客様には、Office Standard 2010 に移行する権利が提供されません。

Office 2010 のソフトウェア アシユアランス移行計画



Office 2010 と Office Web Apps

Office Web Apps には、Word Web App、Excel® Web App、PowerPoint® Web App、および OneNote Web App が含まれます。Office Web Apps によって、従来の作業環境の枠を超えて Office 2010 を利用することが可能になります。ブラウザを通じて、いつでもどこからでもアクセスできます。

Office Web Apps のライセンス

Office Web Apps のライセンスは、ボリューム ライセンス プログラムを介して Office 2010 スイートのライセンスを取得することによって入手できます。このライセンスは、ソフトウェア アシユアランスの一部として提供されるわけではありません。Office のライセンスがデバイス単位で提供されるのと同様に、Office Web Apps のライセンスもデバイス単位で提供されます。Office 2010 ライセンスを取得したデバイスの 1 プライマリ ユーザーは、他のあらゆるデバイスから Office Web Apps にアクセスすることができます。Office のライセンスを取得していないデバイスからのアクセスも可能です。

主な依存関係

Office Web Apps のライセンスは、Office Professional Plus 2010 および Office Standard 2010 を購入することによって入手できますが、Office Web Apps 自体については、お客様の IT 担当者によって SharePoint Foundation 2010 (現在の Windows SharePoint Services) 上にインストールしていただく必要があります。Windows SharePoint Services (WSS) は、SharePoint Foundation サーバーに名称変更され、Web から無料でダウンロードできます。

Office Web Apps は、使い慣れた Office の機能をブラウザ上に拡張した Microsoft Office のオンライン版であり、Office 2010 に代わるものではありません。* オフィス ワーカー向けの最も完全なソリューションは、これまでと変わらず、Office Professional Plus とビジネス生産性サーバー ソリューションのバックエンド実装となります。Office

Web Apps によって、PC、携帯電話、ブラウザから作業を行うことが可能になります。ユーザーはプライマリ デバイスから、ドキュメントを閲覧したり、簡易的な編集作業を行うことができます。Office Web Apps では、Office のすべての機能は提供されません。

* 適切なデバイス、インターネット接続、およびブラウザ (Internet Explorer、Firefox、Safari のいずれか) が必要です。一部のモバイル機能では、Office 2010 アプリケーション、Office 2010 スイート、Office 2010 Web Apps (には含まれない Office Mobile 2010 が別途必要になる場合があります。Office Web Apps、Office Mobile 2010、および Office 2010 アプリケーションの機能は一部異なります。

Office 2010: サーバー統合によるビジネス生産性の向上

Office 2010 では、関連するビジネス生産性のサーバー機能の強化によって、使い慣れた Office のエンドユーザー インターフェイスが簡素化され、エンドユーザーの接続性、コミュニケーション、コラボレーション、および作業効率が向上します。

Office Professional Plus 2010 では、ユーザー エクスペリエンスを向上する高度な機能が提供されます。一方、Office Standard 2010 では、これらの機能へのアクセスが可能です。ただし、アクセスだけでは機能が不十分な場合があります。たとえば、Standard Edition のユーザーの場合は、Web ブラウザー インターフェイスを通じて SharePoint ライブラリと対話することになります。Office Professional Plus 2010 では、多くの場合、プロセスの開始またはポリシーの適用が必要になります。しかし、ユーザーがどの Office 2010 スイートを使用しているかに関わらず、すべてのユーザーがプロセスに参加したり、コンテンツを利用することが可能です。

サーバー統合機能

	Microsoft Office Standard 2010	Microsoft Office Professional Plus 2010	
Information Rights Management (IRM) および ポリシー機能	限定的 ¹	✓	Microsoft Windows Server® の Windows Rights Management Services (RMS) の統合により、デジタル情報を不正使用から保護します。
ビジネス/ソーシャル ネットワーキングへのコンテキストに応じたアクセス	限定的 ²	✓	社内の人物のあらゆる情報を Outlook から直接閲覧することができます。また、人気のソーシャル ネットワーキングサイトに接続して、既存顧客、潜在顧客、およびパートナーの最新情報を入手できます。

統合されたエンタープライズ コンテンツ管理 (ECM)	限定的 ³	✓	SharePoint 2010 との統合により、統合されたドキュメント ワークフローやドキュメント メタデータを実装する優れたテンプレートなど、企業情報へのアクセスに対するセキュリティが強化されます。
データの詳細情報の公開	限定的 ⁴	✓	SharePoint 2010 を通じて、Web 上に高品質のワークシートを公開したり、Excel Services や Access Services を使って Web データベースを作成することができます。
インスタントメッセージング機能、プレゼンス機能、音声機能の統合	限定的 ⁵	✓	Office Communicator および Office Communications Server との統合により、使い慣れた Office ツールを使って、別の場所やタイムゾーンにいる人物と簡単にコミュニケーションを図れます。
電子メール フォルダーと保持ポリシーの管理		✓	アクセス可能なドキュメントの作成や電子メールの保持など、組織のコンプライアンスへの対応を向上させる、さまざまなツールや機能を使用できます。
電子フォームの統合		✓	InfoPath 2010、その他の主要なアプリケーション、バックエンド システム間の統合により、データ収集プロセスが向上します。

¹Office Standard のユーザーは、適切な権利が付与された場合に、IRM コンテンツへのアクセスが可能です。一方 Office Professional Plus では、文書の保護を構成する必要があります。

²Office Professional Plus では、SharePoint との統合が必要です。また Office Standard スイートでは、SDK を通じて接続が可能になります。

³Office Professional Plus では、Office アプリケーションおよびその他の ECM 関連のタスクからワークフローを開始する必要があります。

⁴Office Standard のユーザーは、コンテンツの閲覧が可能です。一方 Office Professional Plus では、コンテンツを作成し、Web 上で公開する必要があります。

⁵Office Professional Plus で、Office アプリケーション内でプレゼンスを表示したり、対話を開始するには、Office Communications Server と統合する必要があります。

エンタープライズ検索

Office 2010 リリースでは、新たに企業向けの高度な検索機能が提供されます。SharePoint Server 製品ファミリーの新機能は、以下のとおりです：

マイクロソフトのエンタープライズ検索



Microsoft® FAST™ Search Server 2010 for SharePoint®

SharePoint により、
強力かつ高度な検索機能を提供

SharePoint Server および Enterprise CAL が必要

- 高度な機能の提供と容易な展開と管理
- 優れた一般検索機能による生産性の向上
- 戦略的なカスタム検索ソリューションおよび統合アプリケーションの構築を見据えた設計



Microsoft® SharePoint® Server 2010

完全なイントラネット検索ソリューション

- IT 管理者の手を煩わせない、エンタープライズクラスのイントラネット検索の実現



Microsoft® Exchange Server 2010

部門別の検索を実現

- 部門別のサイトなど、小規模の戦略的な検索に役立つアプリケーション
- コストや IT 管理者の関与をほぼ必要とすることなく、迅速かつ簡単にプロジェクトの検索が可能

詳細情報については、SharePoint 2010 Web サイト (<http://sharepoint.microsoft.com/ja-jp/Pages/default.aspx>) にアクセスしてください。

ボリューム ライセンス プログラムとライセンス 認証

お客様に提供される Office 2010 スイートは、ボリューム ライセンス プログラムによって異なります。Office 2010 では、Enterprise Agreement (EA)、Enterprise Subscription Agreement (ESA)、Open Value (OV)、および Open Value Subscription (OVS) のボリューム ライセンス プログラムのプラットフォーム製品として Office Professional Plus 2010 が提供されます。Office Professional Plus 2010 は、Select、Select Plus、および Open License のお客様にもご利用いただけます。Office Standard 2010 は、Select、Select Plus、Open License、および Open Value (全社契約オプション以外) のお客様にご利用いただけます。

	EA	ESA	Select	Select Plus	OV	OVS	Open
Office Professional Plus 2010	✓#	✓#	✓	✓	✓#	✓#	✓
Office Standard 2010			✓	✓	✓*	✓*	✓

プラットフォーム製品 / 全社契約製品

* 全社契約製品以外

Office 2010 では、EA プログラムおよび ESA プログラムの Professional Desktop と Enterprise Desktop の両方に、Office Professional Plus 2010 がプラットフォーム製品として提供されます。

EA / ESA のプラットフォーム



Office 2010 では、OV プログラムおよび OVS プログラムの Small Business と Professional Desktop の両方に、Office Professional Plus 2010 がプラットフォーム製品として提供されます。

OV / OVS のプラットフォーム

	Office 2007		Office 2010
Small Business Desktop	Office Small Business 2007	➔	Office Professional Plus 2010
Professional Desktop	Office Enterprise 2007	➔	Office Professional Plus 2010

Microsoft Office 向けのソフトウェア アシュアランス特典

ソフトウェア アシュアランスをお持ちのマイクロソフト ボリューム ライセンスのお客様は、各契約の下でさらに生産性を向上できます。最新バージョンのソフトウェア ライセンスを入手したり、ソフトウェア アシュアランスに含まれる展開や生産性に関するさまざまなメリットを活用することが可能です。

ソフトウェア アシュアランスの移行:

- Office Enterprise 2007、Office Professional Plus 2007 の有効なソフトウェア アシュアランスをお持ちのお客様には Office Professional Plus 2010 に移行する権利が提供されます。
- また、Office Standard 2007 の有効なソフトウェア アシュアランスをお持ちのお客様には、Office Standard 2010 に移行する権利が提供されます。

主なソフトウェア アシュアランス特典:

- 導入計画サービス – マイクロソフト パートナーによる、デスクトップ製品 (Office/Windows)、SharePoint、および Exchange の導入計画サービスによって、ソフトウェアを容易に導入できます。
- アップグレードの権利 – ソフトウェア アシュアランスでサポートされるあらゆるライセンスを、最新バージョンが入手可能になった時点でアップグレードできます。
- 自宅使用プログラム – 自宅でも会社と同じソフトウェアを使用できるようになるため、ユーザーの生産性が向上します。自宅使用ライセンスは低価格で入手できます。
- E-ラーニング – マイクロソフトのエキスパートが開発したオンライントレーニングによって、ユーザーがソフトウェアの最新バージョンを自分のペースに合わせてインタラクティブに学習できます。
- トレーニング受講券 – 技術トレーニングのクラスを受講することで、IT 担当者が最新のスキルを身に付けられます。
- 多言語ユーザー インターフェイス (MUI) – Office Multilanguage User Interface をデスクトップに実装することで、多様な言語を扱うお客様のビジネスをサポートします。

Office 2010 とボリューム アクティベーション

ボリューム アクティベーション (VA) は、マイクロソフト ボリューム ライセンス プログラムの下で、ボリューム ライセンス メディアを使用して Office 2010 のライセンス認証を行うための方法です。ボリューム アクティベーションは、すべてのマイクロソフト製品で標準的に行われています。このボリューム アクティベーションの方法は、Windows Vista と Windows Server 2008 で初めて実行され、Windows 7、Windows Server 2008 R2、Office 2010 でも継承されています。ボリューム アクティベーションは、Windows 7、Windows Server 2008 R2、Office 2010 のすべてのエディションで行う必要があります。

ライセンス認証の方法は 2 つあります。1 つは、キー管理サービス (KMS) と呼ばれるローカル ライセンス認証サービスを環境内で実行する方法で、ライセンス認証を実行するために PC を個別にマイクロソフトのサーバーに接続する必要がありません。2 つ目は、マルチ ライセンス認証キー (MAK) を使用して、マイクロソフトのサーバーに直接接続し、ライセンス認証を完了させる方法です。この方法で認証できるライセンス数には上限があります。

これらのライセンス認証方法は、組織やネットワーク インフラストラクチャの要件に合うよう、自由に組み合わせて実行できます。ライセンス認証が行われないと、製品購入に関するリンクや方法を通知するダイアログ ボックスが表示されます。

ボリューム アクティベーションのメリット

この度、ボリューム アクティベーションの柔軟性と管理性がこれまで以上に強化されました。マイクロソフトでは、お客様に確実に正規のソフトウェアを提供できるよう、次のようなサポートとコンプライアンスへの配慮を行っています。

- **信頼性:** ライセンス認証によって、そのソフトウェアが信頼できるものであり、マイクロソフトから提供された正規のソフトウェアであることが保証されます。
- **サポート:** 正規のソフトウェアは、マイクロソフトおよびそのパートナーによって完全にサポートされます。ソフトウェアが偽造である場合、正規のソフトウェアで受けられる更新プログラムやサポートなどのさまざまなメリットは提供されません。
- **管理性:** KMS および VAMT の機能の向上が向上し、ボリューム アクティベーションによるインストールおよびライセンス認証を、より柔軟かつ安全に実行することができます。
- **ライセンスのコンプライアンス:** ボリューム アクティベーション管理ツールおよびサービスを活用することで、膨大な量のインストール済みライセンスを管理できます。これにより、ライセンス利用規約に対するコンプライアンスを達成できます。ボリューム アクティベーションの認証インフラストラクチャには高い柔軟性が備わっており、さまざまな企業の展開要件に適応し、複数のアプリケーションの認証を処理できます。契約ライセンスに対するコンプライアンス違反があると、罰金が課される可能性があります。ボリューム アクティベーションを行うことにより、企業のこうしたリスクを減らすことができます。詳細情報については、付録セクションのリソース一覧を参照してください。

Office 2010: 重要ポイント

Office 2010 SKUs	Office 2010 ソフトウェア アシユアランスの移行	Office Web Apps
<ul style="list-style-type: none"> • 2つのボリューム ライセンス Office スイート: Office Professional Plus 2010 および Office Standard 2010 • Office Professional Plus: OneNote 2010 および SharePoint Workspace 2010 (Groove の後継) の追加 • Office Standard: OneNote 2010 および Publisher 2010 の追加 	<ul style="list-style-type: none"> • Office 2010 のリリース時点で Office Professional Plus 2007、Office SBE 2007、または Office Enterprise 2007 の有効なソフトウェア アシユアランスをお持ちのお客様 → ソフトウェア アシユアランスにより、Office Professional Plus 2010 に移行可能 • Office 2010 のリリース時点で Office Standard 2007 の有効なソフトウェア アシユアランスをお持ちのお客様 → ソフトウェア アシユアランスにより、Office Standard 2010 に移行可能 	<ul style="list-style-type: none"> • Office Professional Plus 2010 および Office Standard 2010 のライセンスに含まれる • Office の廉価版ではなく、スタンドアロンでの提供もない • PC、携帯電話、ブラウザー経由での使用 • オンプレミス環境用 Office Web Apps のライセンスを入手可能

よく寄せられる質問 (FAQ)

1. **Office Enterprise の変更点について教えてください。**
Office Enterprise は、Office 2010 のリリースによって廃止されます。SharePoint Workspace 2010 (Groove の後継) は Office Professional Plus 2010 に、OneNote 2010 は Office Professional Plus 2010 および Office Standard 2010 の両方に追加されます。
2. **Office 2010 のリリースに伴う、Office Enterprise 顧客のソフトウェア アシユアランス移行パスについて教えてください。**
Office 2010 製品のリリース時点で Office Enterprise ライセンスの下で有効なソフトウェア アシユアランスをお持ちのお客様は、Office Professional Plus 2010 に移行する権利が提供されます。Office Professional Plus 2010 には、SharePoint Workspace 2010 および OneNote 2010 が含まれます。
3. **Business Contact Manager (BCM) アプリケーションは、どちらの Office スイートに含まれる予定ですか。**
Outlook with Business Contact Manager は、Office 2010 の Office Professional Plus および Office Standard の一部として提供されます。
4. **Office Web Apps は、Office ライセンスに含まれるのですか。またはソフトウェア アシユアランスの一部として提供されるのですか。**
Office Web Apps は、Office Standard および Office Professional Plus 2010 のライセンスに含まれます。ソフトウェア アシユアランスの一部としては提供されません。現在ソフトウェア ライセンス付きの Office ライセンスをお持ちのお客様で、Office 2010 のリリース後も引き続きソフトウェア アシユアランスが有効である場合は、Office 2010 に移行する権利が提供されます。
5. **ライセンスについて、Office Web Apps のライセンスと Office のライセンスとの間に 1 対 1 の相関関係はありますか。**
Office では引き続き、デバイス単位でライセンスが提供されます。各 Office クライアントライセンスには、Office Web Apps 用のライセンスが含まれます。ライセンスされていないデバイスからアクセスする場合、Office Web Apps の使用は、Office のライセンス済みデバイスのプライマリ ユーザーに限定されます。
6. **Office Web Apps を利用したいのですが、ライセンスを入手するにはどうすればよいですか。**
Office Web Apps を利用するには、Office Professional Plus 2010 または Office Standard 2010 のライセンスを購入する必要があります。また Office Web Apps は、オンプレミスで利用することが可能です。
7. **Office ライセンスの一部として提供される Office Web Apps には、どのような機能が含まれますか。**
Office Professional Plus 2010 および Office Standard 2010 によりライセンスが提供される Office Web Apps には、Word Web App、Excel Web App、PowerPoint Web App、および OneNote Web App が含まれます。
8. **Business Productivity Online Suite (BPOS) で Office Web Apps を購入することはできますか。**
いいえ。Office Web Apps は Office 2010 ライセンスにのみ含まれます。BPOS の一部として提供されたり、BPOS にアドオンとして追加することはできません。BPOS と Office Web Apps の利用を希望されるお客様には、Office Professional Plus 2010 または Office Standard 2010 と同時に BPOS サブスクリプションを購入されることをお勧めします。
9. **Office Web Apps を展開するために必要なサーバー機能を教えてください。**
Office Web Apps は、SharePoint Server 2010 または SharePoint Foundation 2010 (Windows SharePoint Services (WSS) の後継) サーバー上で稼働します。
10. **SharePoint Online の 2010 バージョンで Office Web Apps のライセンスを入手することはできますか。**
いいえ。Office Web Apps は SharePoint Online または BPOS の一部としてライセンス提供されることはありません。

11. **Office Web Apps は、Office Professional Plus および Office Standard のソフトウェア アシユアランスを通じて利用できるようになるのですか。**

Office Web Apps のライセンスを入手するには、ボリューム ライセンス版の Office 2010 クライアントライセンスを購入する必要があります。ソフトウェア アシユアランスの有無は問われません。ソフトウェア アシユアランスをお持ちでないお客様は、Office Standard 2010 または Office Professional Plus 2010 のライセンスを購入していただくと、Office Web Apps をオンプレミスで使用するためのライセンスを入手できます。

12. **Office Professional Plus 2010 または Office Standard 2010 によって提供される Office Web Apps のライセンスは、デバイス単位で提供されるのでしょうか。それとも、ユーザー単位で提供されるのでしょうか。**

Office クライアントのライセンスは、デバイス単位で提供されます。Office 2010 のライセンス済みデバイスのプライマリ ユーザーには、オンライン版である Office Web Apps にあらゆるデバイスからアクセスするためのライセンスが提供されます。これにより、プライマリ ユーザーは Office Web Apps を通じて、どこにいてもオンラインで Office にアクセスすることが可能になります。

付録

Microsoft Office ライセンス用語集

Enterprise Agreement (EA): 250 台以上のデスクトップを保有し、そのすべてのデスクトップに対して 3 年単位でライセンス契約を結ぶことを希望するお客様向けに設計されたプログラムです。

FPP: 小売店販売用のフル パッケージ製品です。

OEM: 相手先ブランド供給。販売チャネルの 1 つです。

Open License (Open License Business および Open License Volume): 5 台以上のライセンスおよびソフトウェア アシユアランスの購入オプションを希望するお客様向けのプログラムです。

Open Value: ソフトウェア アシユアランス購入オプションが付属する 1 つのライセンス契約の下で、5 ~ 250 ライセンスを必要とし、ライセンス管理の簡素化とコスト管理の強化に取り組むお客様向けのプログラムです。

PUR: 製品使用権説明書。ボリューム ライセンス チャンネルを通じて提供されるライセンス製品の法的条項および条件が記載されています。

Select Plus: 250 台以上のデスクトップを保有し、ライセンスの継続的な使用を想定するお客様向けのプログラムです。

ソフトウェア アシユアランス (SA): ソフトウェア アシユアランスの購入によって、ソフトウェアを効率的に展開して使用するための新たなテクノロジーや生産性に関するさまざまなメリット、サポート、ツール、およびトレーニングをご利用いただけます。

Services Provider License Agreement (SPLA): この契約により、サービス プロバイダーは、マイクロソフト製品を月単位のサブスクリプション ベースでライセンスし、サービスおよびホスティング アプリケーションをそのエンド ユーザーに提供することができます。

ボリューム ライセンス: マイクロソフト ボリューム ライセンスは、ビジネスのニーズに合わせてカスタマイズされたマイクロソフトの製品およびサービスを提供するために設計されたライセンス プログラムです。このプログラムは企業の規模と必要性に合わせて調整でき、シンプルで柔軟、かつ低価格なソリューションが提供されるため、ライセンス管理が非常に容易になります。

関連情報

Office 2010 ライセンス

www.microsoft.com/japan/licensing/about-licensing/office2010.aspx

マイクロソフト ボリューム ライセンス

www.microsoft.com/japan/licensing/

ボリューム ライセンス サービス センター

www.microsoft.com/licensing/servicecenter/

Microsoft License Advisor

www.microsoft.com/licensing/mla

ボリューム アクティベーション

www.microsoft.com/japan/licensing/existing-customers/product-activation.aspx

このドキュメントに記載された内容は情報提供のみを目的としています。明示、または黙示にかかわらず、この要約の内容についてマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。

© 2010 Microsoft Corporation. All rights reserved. すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。マイクロソフトは、情報提供とマーケティングのみを目的としてこのドキュメントを作成しています。

マイクロソフトのボリューム ライセンス プログラムにおけるお客様の権利と義務を完全に理解するには、契約書をご確認ください。マイクロソフトのソフトウェアは許諾することを対象としており、販売することを対象にはしていません。マイクロソフトのソフトウェアおよびサービスを通じて取得した価値やメリットは、お客様によって異なる可能性があります。このドキュメントと契約間の相違に関して疑問がある場合は、担当のリセラーまたはマイクロソフト アカウント マネージャーにお問い合わせください。